

市議会だより さつて



10月13日(土)に上高野小学校にて防災訓練が実施されました。
トリアージ(重症度によって治療の順番を決めること)の様子。

9 月定例会のおもなことから

- ・ 平成30年9月定例会議案……………2～5ページ
- ・ 各常任委員会での審議……………6～8ページ
- ・ 市政に対する一般質問……………9～15ページ
- ・ 議決結果の一覧、編集後記……………16ページ

No.88
2018年
11月

平成29年度一般会計決算を認定

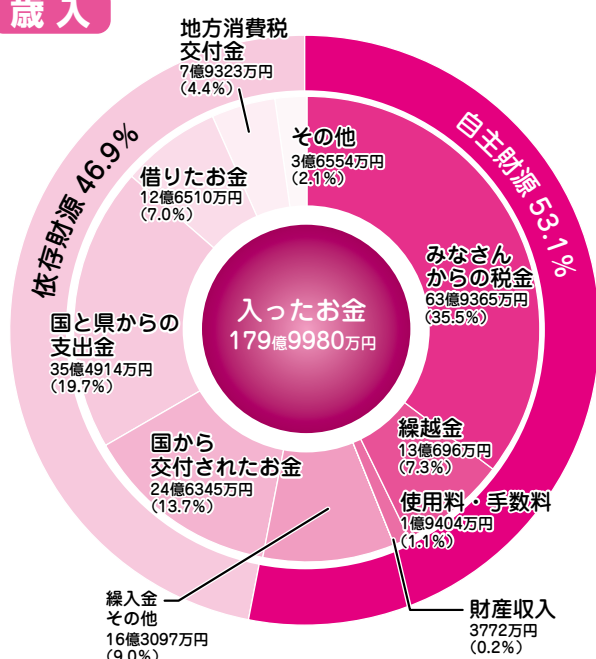
歳入総額 **179億9,980万円** 歳出総額 **167億6,112万円**
 (前年度比1.0%減) (前年度比0.7%減)

実質収支額（決算剰余金）8億2,540万円

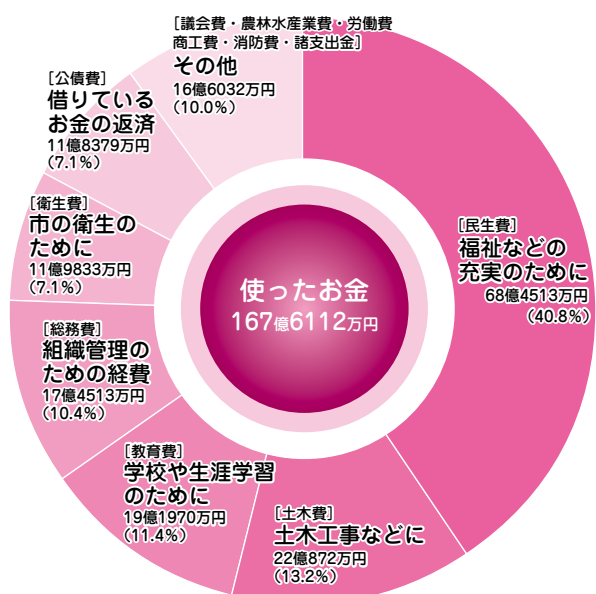
平成29年度一般会計の決算状況

9月定例会

歳入



歳出



歳入・歳出

歳入では、自主財源の根幹を占める市税（みなさんからの税金）は、前年度比1.5%の増となりました。予算現額に対する収入率は101・0%。

歳出では、予算現額に対する執行率は前年度比1.9%減の89・4%。人件費・扶助費・公債費（義務的経費）の歳出は前年度比0.1%増の45・1%でした。

平成30年9月定例会は、9月3日から9月28日までの26日間の会期で開かれました。市長提出議案は、平成29年度一般会計・特別会計決算の認定・水道事業会計未処分利益剰余金処分および決算の認定9件、条例案5件、市道路線認定・変更・廃止3件、平成30年度一般会計・特別会計・水道事業会計補正予算8件の合計25件と人事案件2件でした。一般会計補正予算では修正動議が提出されました。一般質問は、11人の議員が市政をただしました。審議の結果、いずれも原案のとおり、認定、可決、同意されました。

一般会計・特別会計の決算状況

一般会計・特別会計（水道会計を除く）歳入決算合計は前年度比1.1%増の324億3665万円。歳出決算合計は同比1.4%増の302億2782万円でした。水道事業会計決算は収益的収入が11億6635万円。支出は10億1760万円。良好な経営となっています。給水量1mあたりの利益は、7円67銭でした。

平成29年度その他会計の決算状況

(単位 円)

会 計 名	歳入決算額	歳出決算額	実質収支額
国民健康保険特別会計	7,926,732,516	7,431,260,907	495,471,609
後期高齢者医療特別会計	558,148,183	554,542,950	3,605,233
介護保険特別会計	3,750,473,006	3,420,374,558	330,098,448
農業集落排水事業特別会計	30,407,609	28,629,566	1,778,043
公共下水道事業特別会計	1,242,662,198	1,167,990,849	74,169,349
幸手駅西口土地地区画整理事業特別会計	928,424,200	863,893,402	31,082,798
水道事業会計(収益的収支)	1,166,345,107	1,017,604,445	148,740,662

平成29年度幸手市
一般会計決算質疑内容

質 疑

平成29年度の歳入決算総額が179億9980万円です。一方、歳出総額は167億6112万円、実質収支が8億2540万円、単年度収支がマイナスの8518万1577円、積立金が1億6800万円、取り崩し額は4億6千万円、実質単年度収支が3億7700万円の赤字です。こういった、市の現在の財政状況をどのように見ているか伺います。

答 弁

当市の平成29年度決算の歳入は、前年度と比べ1億8593万8千円、1%ほどの減少となっております。主な要因といたしまして、前年度と比べて、市税、地方譲与税、利子割交付金などが増額したものの、地方交付税や国庫支出金などが減額となっております。歳出は前年度と比べ1億1765万

千円、0.7%ほどの減少となっております。主な要因といたしまして、前年度と比べて古川橋架け替え工事などの支出が増加したほか、小中学校へのエアコン借上料が増加したものの、幸手駅自由通路整備工事負担金などの減少や圏央道関連事業負担金が皆減となっております。

質 疑

財政構造の弾力性を示す問題として、公債費比率では38%ですが負担比率の方で見ると10・3%ということです。この比率の違いは臨時財政対策債の償還分を入れるか入れないかでこの数字が変わってきているのかなと思うのですが、これをどのように理解をされ判断をされているのか、その原因について伺います。

答 弁

市の財政構造の弾力性を示す経常収支比率は93・1%であり、前年度と比べて1.9ポイント増加し、また、公債費負担比率も10・3%と、1.4ポイント増加しております。今後、重点プロジェクト事業が

終了していく一方で、老朽化した公共施設の更新費用や社会保障関連経費など多額の財源を必要とする状況が続くと想定されることから、経常収支比率を初め健全化判断比率等に留意するとともに、限られた貴重な財源を効果的に配分し、持続可能な財政運営を行ってまいりたいと思っております。

質 疑

重点プロジェクトで計画している平成31年度庁舎関係の予算8億9239万千円は計上可能か伺います。

答 弁

アセットマネジメントの一環として個別計画を策定中です。庁舎についてもその計画を立てた上で今後の検討に入りたいということで、重点プロジェクトの計画には入っていたが、平成31年度の庁舎関係の予算については計上しないものです。

平成32年度までは国庫補助はありませんが起債、地方債の許可はおりるようです。

(議案第70号)
平成29年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定についてを認定

反対討論

大平 泰二

重点プロジェクト計画の平成29年度建設費は4億1360万9千円としていましたが、当初予算でこれを11億2892万円に変更したものの、執行した予算は1億1697万円で残り9億3963万円は30年度に繰越す予算措置です。30年度駅舎建設予算は10億900万円となっており、繰越と合わせた平成30年度の契約金額は19億4863万円であり、計画性のない年度内支払いは可能か疑問です。

賛成討論

小林 順一

市で購入したドローンを災害時の他、あらゆる場面での活用、また公明党が要望の「じいじ・ばあばスタートブック」の作成は子育ての力強い応援が期待されます。市内全小中学校の全普通教室等にエアコンが設置され、児童生徒の学習意欲の向上が図られ、さらに市民のニーズに応える施策の実

施に期待し、議案第70号平成29年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定の賛成討論とします。

反対討論

武藤 壽男

平成29年度幸手市一般会計歳出決算は、多額の事業繰越により執行率89・4%と低いものであった。小学校の大規模改修や、全小中学校にエアコン設置を実施し、今年の酷暑の中でも教育環境を確保する事が出来たことなど評価する事業もあった。しかし、不適正な補助金事務執行等が発覚したが、その調査も当事者同士の調査であって公正さを欠くものであった。それによる還付金もあり認め難い。

賛成討論

木村 治夫

歳入では、市税全体で対前年度比9650万635円、徴収率97・79%、率にして0・45%上昇している。評価すべき事業として、3世代ファミリー定住事業、第二保育所建替え、幸手産コシヒカリの販売促進、自主防災組織への補助、小中学校全12校にエアコン設置などの市民サービスや発展事業については地域経済を注視し、国等交付金を活用し、市民対話・交流

を基本とした市政運営を要望する。

(議案第73号)
平成29年度幸手市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定についてを認定

反対討論

大山 重隆

私は、次の4点を根拠とし反対と致します。①幸手市の高齢者率は33%、自宅で安心できるサービスの整備は、久喜・杉戸に比べ遅れている。②介護施設へ入りたくても費用が高くて入れない。補助制度も十分でなく、特養ホームは空いている状況である。③認知症対策・予防にて、地域の見守り、公的サポートが不十分である。④本来、介護の充実に使えるお金を3億3千万円も繰り越している。

(議案第76号)
平成29年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定についてを認定

賛成討論

木村 治夫

駅西口土地区画整理事業は、長期間かつ膨大な費用経費がかかる。しかし、交通面、防災面等の解消と市の玄関口整備、地域の利便性、快適性、安全性を高める重要な事業である。駅西口地区の住民にとって西口開設は悲願であります。今後においても国庫補助金などの財源確保に努めながら、計画的な事業展開を図り、推進していただけるよう強く要望し、賛成討論とする。

(議案第80号)
幸手市立学校設置条例の一部を改正する条例を可決

反対討論

中村 孝子

当条例は、市内唯一の市立吉田幼稚園を廃止するものである。小学校の統廃合では学校機能は無くならなかった。しかし今回は、公立の幼稚園機能は皆無に、市は幼児教育に積極的関与をせずということである。誰もが認める最高の環境の幼稚園である。社会情勢に応じた工夫を真剣に研究し、人間形成の根幹を為す幼児期教育を市において責任を持って行うべきであり、当条例改正には反対。

反対討論

武藤 壽男

市立吉田幼稚園は、議会の要望により設置され、広々とした緑と木のぬくもり豊かな園庭、園舎を持つ全国にも誇れる幼稚園である。お母さん方からも自然と共生するなかで友達を思いやる教育が実践され、是非存続していただきたいとの熱い請願もあり、更に教育基本法第11条に規定されている通り、自治体は幼児教育の振興に努めなければならぬとされ、公立幼稚園の廃止には反対である。

原案に対する賛成討論

本田 諤子

土木費、駅舎整備事業費の委託料は、来年3月に完成する幸手駅橋上駅舎東西自由通路完成を、市民と共に祝うための費用です。駅はエレベーターやエスカレーターが設置され、ゆつたりとした造りは災害時にも役に立ち、子どもや高齢者にもやさしい。市民参加型の駅とも言えます。予算の半分は県の補助金の内示が出ました。たくさんの市民の心に残る有意義なお祝いになると期待いたします。

原案に対する賛成討論

木村 治夫

橋上駅舎完成式典や西口駅広モニュメント設置等は、長年にわたる市の懸案事項であり、多くの市民の念願であった式典には多数の市民の皆様に参加していただきたい。子どもたちからお年寄りまで、多くの市民が駅舎と自由通路と西口広場に集い、外へ向けて情報発信してくれるでしょう。市はよくあるよと言えることが事業成果であり、イメージアップになる。努力と覚悟で取り組むこと。

(議案第86号)

平成30年度幸手市一般会計補正予算(第3号)を可決

平成30年度幸手市一般会計補正予算(第3号)の審議の際に、幸手駅橋上駅舎東西自由通路完成記念式典業務委託料など3事業を減額とする修正案が提出されました。修正案は審議の結果、否決となり、原案可決となりました。

原案に対する反対討論

大平 泰二

市が民間橋上駅舎完成記念式典に投入する予算総額は1320万4千円にもなります。特に記念モニュメント設置は、市民参加も見積も構想図もない中で600万円を計上しています。そもそも、橋上駅舎は東武鉄道の所有で民間施設です。その民間施設の完成式典を公費で行うことは認められません。ちなみに、幸手市民祭りは400万円、圏央道側道開通式で99万円程度の予算で式典を行っていただきます。

修正案に対する賛成討論

武藤 壽男

今回の補正予算には古川橋関連の補償金の増額補正もあるが生活権とその機能確保のため、地権者の立場に立つて協議解決されたい。修正案は、駅東西自由通路開通及び西口広場の供用開始に伴う式典費用約1300万円を200万円に減額するものである。開通は市民の共通の喜びではあるが、社会や財政の状況の中では、税金で行う事業は慎重であるべき。同様の岩槻駅は約100万円であった。

(議案第89号)

平成30年度幸手市介護保険特別会計補正予算(第1号)を可決

反対討論

大山 重隆

介護保険の保険者は市であります。つまり、市の意向で介護サービスの充実には大きな差がでるという事です。補正予算の「地域包括支援センター運営事業」において、高齢者・要介護者・認知症の方が増え、センターの仕事量・要望が大きくなります。市の方針は、民間委託のまま東西2ヶ所。杉戸町は増やして3ヶ所。定員は各5人のまま。全国平均は、8人である。介護の充実には程遠い。

人事案件

教育委員会委員

会 田 研 司 氏

を任命することに同意しました。

監査委員

小 林 清 春 氏

を選任することに同意しました。

総務常任委員会

平成29年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定
(議案第70号)

問 納税義務者数の増と所得割額の減について。

答 人口減少の中で納税義務者が増えたのは、雇用の拡大と、今まで働いていなかった方が働き出したことが一番大きいと思う。いわゆるパート収入の方が増えると、所得割の金額は伸びないが、納税義務者の人数は増える。一人当たりを割り返すと若干落ちているので、給与水準が下がったというよりは、給与の少ないパートの方の人数が増えたので、全体的に減になった。

問 市税の不納欠損の内容は。

答 5年経過して時効が完成したものが740件で692万1714円。執行停止3年の途中で時効を迎えたものが、215件で447万6927円。

執行停止後3年経過して時効になったものが、100件で186万2086円。

即時消滅の不納欠損が102件で164万3387円となり、合計で1490万4114円である。

問 3世代ファミリー定住促進事業補助金の地域別の件数と評価は。

答 申請件数は、大字幸手が3件、千塚が1件、上宇和田が1件、北3丁目1件、中5丁目1件、上高野が2件、内国府間が1件、天神島が1件、香日向が1件の合計12件である。同居・近居の割合は、親が市内に居住し、すべて近居。申請者におこなったアンケートでは、補助金があったから幸手市を選んだという回答が多かった。またこの制度については、家族の者、知人、友人から知ったとあり、移転先を探すときに、幸手市にはこういう制度があるという促しもあったのではないかと考え、幸手市の定住促進については、効果があると認識している。

平成30年度幸手市一般会計補正予算(第3号)
(議案第86号)

問 固定資産税の増額理由は。

答 当初積算では見込めなかった部分が明らかになったものである。内訳として、償却資産については、約1億2千万円の増額。産業団地内の4事業所のうち3事業所について、積算では見込んでいなかった約3300万円の増額。

また、産業団地以外にも100万円以上増額となった事業者が17社あり、合計で約1億2千万円の増額となったものである。主な原因は、設備投資が積極的に行われた結果と見ている。

次に家屋については、約2800万円の増額。産業団地内の1社が物流総合効率化法の適用を受けて、課税標準額を2分の1と見積もっていたが、その適用を受けたのが全体ではなく一部にとどまったため、約1340万円多くなったのが主な要因である。

さらにまた、土地については、約900万円の増額で、産業団地内1区画分の販売分が主な理由である。

問 継続費の古川橋設計業務委託事業の内容について。

答 古川橋兩岸の取り付け道路工事に關して、平成30年度中に業務委託を締結し、平成31年度の工事単価で設計を行うため、平成30年度の支出はなく、平成31年度に360万円を継続費とする。

当初、平成31年3月に供用開始予定であったが、下部工、橋脚の工事を2カ年に分けたこともあり、1年延長となった。現在行っている工事は今年度中に終わる予定であるが、取り付け道路の完了を待って、平成32年3月までは供用開始をするという予定で進んでいる。



工事中の古川橋

文教厚生常任委員会

平成29年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定について
(議案第70号)

問 自治振興費、協働事業推進協力報償金の内容は。

答 市との協働事業を推進する活動を行う行政区104地区に対して、協働事業推進協力報償金を支給するもの。

問 社会福祉総務費の補助金清算返還金の内訳と主な理由は。

答 平成27年度の臨時福祉給付金等給付事務費補助金および、平成27年度年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業費補助金の返還金である。また、返還金が生じた理由は、事務経費の返還が生じたことと、事前に受入れた額よりも給付額が下回ったため。

問 産後ケア事業業務委託料の事業内容は。

答 出産、退院後、産婦の体調不良等の支援や新生児のケアを支援

する業務である。

問 防災倉庫設置工事の内容は。

答 場所は昨年度新設した第二保育所にあり、備蓄品は、他の防災倉庫と同等で、災害に対応するための工具、食料等を備蓄している。

問 臨時職員賃金の内容は。

答 各学校に配置している、栄養士8名、用務員が11名と、学校教育課および社会教育課の事務のパートタイム職員2名、全部で21名分の人件費である。

平成29年度幸手市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
(議案第71号)

問 国民健康保険被保険者世帯数が年々減少している要因は。

答 人口減少に加え、年齢の高い層の後期高齢者医療制度への移行と、パートタイム職員等の非正規職員が被用者保険に加入出来る、国の制度が始まったことなどが関

係している。

平成29年度幸手市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
(議案第72号)

問 被保険者それぞれの負担割合の人数は。

答 平成29年3月年度末の数字で、1割負担の方が6620人、3割負担の方が412人、2割負担はありません。

平成29年度幸手市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
(議案第73号)

問 高齢者・障害者地域見守り支援ネットワーク事業でどこがキーソリューションになって指示しているのか。

答 担当課の介護福祉課と、地域包括支援センター等で、各福祉関係のセクション等、関係機関についていくという形を取っている。

幸手市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
(議案第79号)

問 放課後児童支援員の教員免許の所持者数および職員体制はどうなっているのか。

答 常勤職員17名、パート職員51名の68名で運営し、放課後児童支援員認定資格者が20名、教員免許取得者12名、保育士、幼稚園教諭12名、児童指導員10名の免許所持者が勤務している。

平成30年度幸手市一般会計補正予算(第3号)
(議案第86号)

問 合併処理浄化槽の設置整備事業補助金の増額理由は。

答 設置整備事業補助単価が5人槽が63万7千円で、7人槽が69万千円、すでに5人槽が3件、7人槽が6件の補助が執行済みで、当初予算と同規模の補正予算を計上したい。



建設経済常任委員会

平成29年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定 (議案第70号)

問 緊急修繕工事の内容は。

答 地域からの要望があった場合や、パトロールにより損傷箇所を発見した場合等に工事を行ったもので、平成29年度は25件の工事を行った。

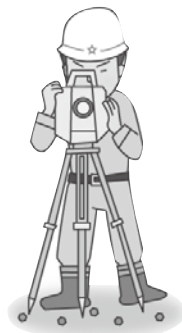
問 中心市街地にぎわい創造プランの幸手市と他市町との方向性の違いは。

答 大きく近隣市町と違うところは、中心市街にある商業店舗の数が減少しており、郊外における大規模小売店舗があること、幸手市中心市街地で買い物をするのは目的を持った買い物だけだという状況である。

今回のプランは、様々な団体や商工会、個人などから4つの方針に沿った提案事業に対して、今後支援あるいは直接関わっていくというところが他の市町のプランとは違う方向になっている。

問 大中落流域水路設計調査業務委託料の内容と今後の設計は。

答 内容は、大中落左岸、牛村橋付近の左岸側の平面測量と縦横断面測量を実施した。水路が、3本から2本になるため道路冠水が起これと考える、今後、道路冠水を解消するための設計を進めていきたい。



平成29年度幸手市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定 (議案第74号)

問 農業集落排水処理施設使用料にかかる人数割料金の申告は。

答 家族構成が変わった場合には、その家族からの申告が義務づけられており、場合によっては周りのお宅などに聞いて、変わった様子がある場合はこちらから確認に向うこともある。

平成29年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定 (議案第76号)

問 地下埋設物撤去・処分等工事の内容は。

答 事業を進めるにあたり、既存の道路や水路の振り替えを行うため、道路や水路等を壊した際の殻等の撤去・処分などである。場所等は、駅前周辺等がメインである。

市道路線の変更について (議案第84号)

問 市道路線の変更の内容は

答 市道1747号線については、近隣の境界査定等を実施した際に、民地内を起点として認定したことが分かり、現状の公図上に道路敷地がなく現況もないことから、起点を変更するものである。

市道2338号線についても同様のことから終点部の変更をするものである。

平成30年度幸手市一般会計補正予算(第3号) (議案第86号)

問 緊急工事500万円の内容は。

答 当初から予定していない要望があった場合に備える予算である。前年度の決算額が約980万円であり、今回の補正額500万円と当初予算500万円で、前年度並みに増額補正するものである。

問 古川橋取付道路嵩上げに伴う物件補償費の補償内容は。

答 道路が高くなることで生活に非常に不都合が生じるため、従前の生活再建を図るため、従前にて補修費を積算しており、基本的に契約については補償金としてお支払いして、完結する。

補償金で他の場所に再建するということであればそれも契約的には成り立つ。

その場所で揚屋をする、または同敷地内の別のところに建てる、ということであれば、市は十分協議・調整をし、生活再建ができるように協力をしていく。

市政に対する

一般質問

今定例会では、11人の議員が9月4日、5日、6日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

小林啓子議員

- 幸手市デマンド交通について
- 軽度外傷性脳損傷(MTBI)について

本田謡子議員

- 子どもたちの安全対策について
- 防災について
- ふるさと納税について

宮杉勝男議員

- アスカル幸手駐車場について
- 治水対策について

松田雅代議員

- 事務処理の遅滞について
- 全国学力・学習状況調査結果分析について
- コミュニティ・スクールの取り組みについて
- さってしシティプロモーション事業の推進について

中村孝子議員

- 駅舎整備事業後の重点事業計画と財政計画について
- 人口減少後のまちづくりについて

大平泰二議員

- 古川橋架替工事と民地嵩上げ問題
- 可燃ごみ委託問題
- 橋上駅舎・西口土地区画整理
- 中島用悪水路土地改良区補助金不正交付問題
- 治水対策について
- 九郎右エ門集会所建設補助金

小林順一議員

- ドローンの活用について
- 学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全確保について

青木章議員

- 小中学校のトイレ洋式化について
- 東京2020オリンピック・パラリンピックキャンプ地誘致について
- 英語教育の強化について

木村治夫議員

- 幸手駅西口土地区画整理事業地内の調整池整備状況について
- 空き家に関する市の取り組みについて
- 市内土地の雑草繁茂対策について

大山重隆議員

- 地域包括ケアの推進を求める決議（平成28年12月22日）の達成状況について
- 「介護施設への入所」について
- 「地域包括支援センター」について

武藤寿男議員

- 市の行政と市長、職員、議会の役割と責任について
- 行政事務執行の公正性と公平性と責任について

今後の幸手市デマンド交通は



小林啓子議員

Q 現在、デマンド交通利用者から、予約が取りづら
いとの声を聞く。見直しをした
ことについて伺う。

運転免許証を自主返納された
高齢者に対し、今後幸手市とし
てどのような支援をするのかを伺
う。

市長は、現在のデマンド交通
システムを踏まえて、今後、ど

のように幸手市民のために運行
をしていくことが望ましいのか
を伺う。

A 限られた便数の中で、時
間をまたいだ予約・運行
が出来るようにシステムの変更
とともに、乗合率を高めるため、
乗降にかかる時間の設定変更を
行った。

運転免許証を自主返納された
高齢者の方を対象に、来年1月
からタクシードライバーを交付す

る事業を行う予定でいる。
高齢者を中心とした市民の日
常生活を支えるための公共交通
となるよう、利用者全体のご意
見を伺いつつ、今後さらに利便
性と効率を高めるための、見直
しを図っていく。

(市長、市民生活部長)



市は避難行動要支援者を守るのか



本田謡子議員

Q 幸手市は、避難行動要支
援者（要介護認定者・身
体障がい者・知的障がい者・精
神障がい者などのうち、避難す
ることが困難な方で支援を要す
る方）の名簿が作成済である。
しかし、個別計画は策定中なの
で、防災訓練等での活用はまだ
まだである。今、突然災害が起
きても誰も守ることが出来ない。

幸手市は、避難行動要支
援者（要介護認定者・身
体障がい者・知的障がい者・精
神障がい者などのうち、避難す
ることが困難な方で支援を要す
る方）の名簿が作成済である。
しかし、個別計画は策定中なの
で、防災訓練等での活用はまだ
まだである。今、突然災害が起
きても誰も守ることが出来ない。

早急に個別計画を策定し、自主
防災組織や地域の方々の協力の
もと、避難行動要支援者の防災
訓練が必要と考えるが、これか
らの市の対策を伺う。

A 避難行動要支援者の個別
計画については、福祉部
門と連携のうえ、今年度中には
計画の概要を決定し、民生委員
や自治会、地域の自主防災組織
など外部への情報提供に対する
同意を名簿登載者よりいただき

ながら、出来るだけ早期に作成
したいと考えている。
避難先となる福祉避難所につ
いては、避難者受入の訓練の実
施等の支援を進めるとともに、
市防災訓練において、避難者の
福祉避難所への引渡しを想定し
た訓練を実施する予定である。

(市民生活部長)



アスカル幸手駐車場の件



宮杉勝男議員

Q

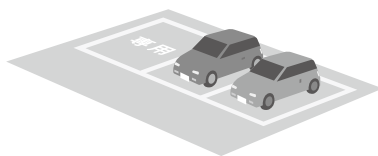
以前一般質問で、改善していききたいとの答弁を頂きましたが、現在までなんの變化もないので、次の事を伺う。
①幸手市で考える改善方法はどうのようなものか、具体的に伺う。
②改善を行う上で、問題点について伺う。
③現在まで進捗しんちよくをしていること
があれば、その状況について伺

A

①アスカル幸手周辺に駐車場を整備することが、施設利用の利便性向上のひとつの改善方法であると認識している。
②アスカル幸手周辺については、農業振興地域の整備に関する法律の制限等があり、駐車場など農用地区域からの除外が必要で、これが改善を行う上での問題点であると考えている。

③駐車場用地の選定とともに、農用地区域からの除外について、埼玉県をはじめ関係機関との調整を行っている。

(教育部長)



予習・復習に正しく取り組まれているか



松田雅代議員

Q

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果をみると、幸手市でも全国と同様、応用問題が苦手な傾向は改善されておらず、さらに、時間・労力・財源を投入して進めている基礎基本の定着にも課題が残る。結果をどのように分析しているか。また、目標を数値化して進める各学校の取り組みの目標

A

家庭での予習・復習の実現率については、小学校では81・1%、中学校では63・5%であり、共に県平均を上回っている。しかし、小学校では約20%、中学校では約35%近い児童生徒は依然として実施でき

ていない状況にあり、看過できない。また、中学生のスマートフォンの利用時間が県平均よりも長く、学習時間の減少の大きな要因になっており、家庭の協力を得、その解消にも努めてまいりたい。

(教育長)



駅舎整備事業終了後の重点的事業の計画は



中村孝子議員

Q 28億4500万円の費用を掛けた橋上駅舎と自由

通路整備事業が、平成31年3月に完成予定で進行している。この事業終了後に、重点的に取り組む事業の計画があるのか、その財政計画はいかがか市長に伺う。

また、現在重点プロジェクトに組み込まれていて、有識者の

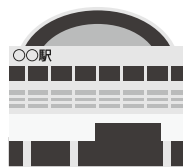
意見を聞いているという「庁舎整備事業」は進展しているのか。防災上も街づくりの観点からも市の中心施設である庁舎の整備計画は、早急に作成すべきと思うが市長に伺う。

A 橋上駅舎や自由通路整備の終了後においても、駅

西口地区土地区画整理事業や橋りょう改修事業、公共施設の老朽化対策や統廃合の検討など重要な事業が継続している。これ

らの事業については確かな財源を確保しつつ、現在策定中の第6次幸手市総合振興計画の基本計画の中で施策の重点化を行う。庁舎整備事業については、防災の拠点施設でもあり、公共施設個別計画の中で方向性を定めていく。

(市長・総務部長)



認められません税金の無駄使い



大平泰二議員

Q 市が、民間橋上駅舎完成記念式典に投入する予算

総額は1320万4千円で、東武鉄道の負担はありません。その内訳として、幸手駅橋上駅舎東西自由通路完成記念式典業務委託料594万円。東西自由通路階段アート設置業務委託料126万4千円。西口駅前広場記念モニュメント設置業務委託

料を600万円としながら、見積書も構図もない不透明な提案です。財政難に陥っているなかで、こんな予算は必要でしょうか。

A 幸手駅橋上駅舎、東西自由通路の完成、駅西口開

設については、幸手市にとって初めてであり、新しい幸手市の誕生ともいえる。その記念式典として可能な限り抑えた必要な経費として認識している。

西口駅前広場記念モニュメントについては、駅西口広場の開設を記念するとともに、待合わせ場所やシンボリックなモニュメントを設置することで、駅前の個性づくりが期待できる修景施設として必要であると認識している。

(市長・総合政策部長)



通学路におけるブロック塀等の安全確保は



小林順一議員

Q

大阪北部地震により、女子児童が自ら通学する学校の倒壊したブロック塀の下敷になり尊い命が失われた。

幸手市の学校施設における、ブロック塀等の安全上の問題のある学校は何校あったのか伺う。
安全性に問題のあるブロック塀等の改修工事着手の間の安全確保は、どの様にするのか伺う。

A

安全性に問題のあるブロック塀等を有する学校は上高野小学校、行幸小学校の2校である。

ブロック塀等の改修工事着手までの間の安全確保は、カラーコーン等で区画し、近寄らない

よう児童へ指導・注意喚起をしている。

民間のブロック塀等の改修費用等の支援については、今後、市長部局と連携を図り対応していきたい。

(教育部長)



東京オリンピック・パラリンピックの対応



青木 章議員

Q

東京オリンピックでのキャンプ地を誘致して欲しい。と私は一般質問等を通じて何度となく発言してまいりました。そんな中、幸手市はベナン共和国と東京2020オリンピックの競技大会を契機とした交流事業の合意に至りました。幸手市をあげての歓迎・文化交流・民泊・子供たちとの「ふれあい」

A

など、さまざまな事業が想定されます。特に子供たちに記憶に残る素晴らしい事業をお願いしたい。また、聖火リレーが幸手市内を通るよう努力をして欲しいかがでしょうか。

ホストタウン登録により、更にベナン共和国への事前キャンプ地誘致を進めたいと考えています。また、特に子供もたちとの「ふれあい」に関する交流事業については、小中学校

および駐日ベナン共和国大使館と調整を図り、オリンピック選手と子どもたちとのスポーツ交流やベナン共和国を理解するための文化交流等、子どもたちの記憶に残る事業を考えて参りたいと思います。聖火リレーについては、幸手市内がルートに選定されるよう、強く要望して参ります。

(教育部長)

幸手市内土地の雑草繁茂対策を問う



木村治夫議員

Q

市街地はもとより、市内全域に年々増加している農地または空き地の通年管理されていない「管理不良状態」土地に対し、近隣住民は火災発生・犯罪の誘発・ごみ不法投棄・衛生の悪化・悪臭の発生・樹枝の越境等、清潔な生活環境が脅かされている。そこで次のことを伺う。

A

①現場の現状把握と確認状況を伺う。
②苦情等の対応策またどのような実行されるのか伺う。
③問題課題に対する市の取り組みについて具体的に伺う。

(市民生活部長)

②土地の所有者等に除草作業を実施するよう、文書や口頭により指導・助言を行っている。
③指導等を行っても早急に対応していただけないとは限らず、催告を重ねるケースもある。所有者等には土地の適正管理に関する必要性を十分に理解していただくことが重要であり、引き続き継続的な啓発に努めていく。

介護施設に入所したくても入れない理由は



大山重隆議員

Q

私は、市民から「介護施設に入りたいが、費用が高すぎて入れない」という声を聞く。一番安く入れる特別養護老人ホーム(特養)でさえ月に15万円かかる。国民年金の月に5万円、どうして払えまじょうか。現在、特養の定員は278人。入所者は181人で約100人空いている状況です。施設長

A

施設への入所希望があっても経済的事情で入所を躊躇する方もいると思う。特別養護老人ホーム等に入所の場合、所得に応じて居住費と食費が軽減される特定入所者介護サービス

(健康福祉部長)

ス費があるので引続き周知に努めていく。また当市でも、在宅生活を支えるサービスの1つである小規模多機能型居宅介護が平成31年3月に開設予定であり、現在公募中の定期巡回・随時対応型訪問介護看護に応募があった。今後必要なサービスの整備に取り組んでいく。

ドローン飛行操縦訓練の見学



ドローン操縦の様子

平成30年9月27日(木)にB&G海洋センターで、ドローン飛行操縦訓練を見学しました。災害時等の活躍に期待します。

9月定例会 会期日程

- 9月3日(本会議)
 - ・開会・会期の決定・報告事項
 - ・市長提出議案一括上程、提案理由説明
- 9月4日・5日・6日(本会議)
 - ・市政に対する一般質問
- 9月12日(本会議)
 - ・議案に対する質疑
 - ・議案の委員会付託
- 9月13日(委員会)
 - ・文教厚生常任委員会
- 9月18日・19日(委員会)
 - ・総務常任委員会
- 9月20日・21日(委員会)
 - ・建設経済常任委員会
- 9月28日(本会議)
 - ・委員長報告、質疑、討論、採決
 - ・閉会

9月定例会

傍聴者

31人の方が傍聴されました。

議会インターネット中継のアクセス件数
インターネットを利用した議会中継
(ライブおよび録画)を行っております。

7月	1841件	8月	276件	9月	2663件
----	-------	----	------	----	-------

の方が視聴されました。

12月定例会のお知らせ

11月30日開会予定です。

詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.city.satte.lg.jp/>

自治の本旨と役割及び公正と公平の担保は



武藤寿男議員

Q

近年、不適正な申請書類の誤記や、補助金過剰交付事務など、市の事務執行が市民の信頼を損なう事案が多発している。

改めて市の自治の本旨とは何か、役割は何か、行政事務に直接当たる職員の責任とは何かなど、原点を認識する事が問われている。

A

市民の意思に基づき最小の経費で最大の効果を上げるべく、住民福祉の増進を図るために、公正性と公平性が求められているが、市はこれらを担保するために、どのようにされているか。

公務員は、職務を遂行するに当たり、各法令を遵守し行動するように求められている。

このことから、行政事務の公正性および公平性を保つために

は、職員一人一人が法令や事業内容等をよく理解し、職務に対して日頃から高い意識を持ち、適正に事務処理を行っていく必要がある。また、組織においても、上司等複数の職員で文書の正確さ、内容、判断等をチェックし、迅速で確実な事務処理をすること、公正性および公平性が保たれるものと考えている。

(総務部長)

平成30年9月定例会 提出された議案の結果

公明党…公 改革…改 先進…先 自由民主党…自 新緑…新 日本共産党…共 無所属…無 (○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席)
(市長提出議案)

議案番号	議席番号・議員名 議案名	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	付託委員会	本会議 議決結果
		大山重隆(無)	小林啓子(公)	小河原浩和(改)	本田謡子(改)	松田雅代(先)	宮杉勝男(自)	木村治夫(自)	小林順一(公)	中村孝子(先)	藤沼貢(無)	青木章(新)	手島幸成(新)	武藤壽男(無)	大平泰二(共)		
議案第69号	平成29年度幸手市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第70号	平成29年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	総務 文教厚生 建設経済	賛成多数認定
議案第71号	平成29年度幸手市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員認定
議案第72号	平成29年度幸手市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	文教厚生	賛成多数認定
議案第73号	平成29年度幸手市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	文教厚生	賛成多数認定
議案第74号	平成29年度幸手市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員認定
議案第75号	平成29年度幸手市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員認定
議案第76号	平成29年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	建設経済	賛成多数認定
議案第77号	平成29年度幸手市水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員認定
議案第78号	幸手市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	文教厚生	賛成多数可決
議案第79号	幸手市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第80号	幸手市立学校設置条例の一部を改正する条例	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	×	×	×	文教厚生	賛成多数可決
議案第81号	幸手市公共下水道事業の設置等に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第82号	幸手市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第83号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第84号	市道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第85号	市道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第86号	平成30年度幸手市一般会計補正予算（第3号）	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	×	×	×	総務 文教厚生 建設経済	賛成多数可決
議案第87号	平成30年度幸手市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第88号	平成30年度幸手市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	文教厚生	賛成多数可決
議案第89号	平成30年度幸手市介護保険特別会計補正予算（第1号）	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	文教厚生	賛成多数可決
議案第90号	平成30年度幸手市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第91号	平成30年度幸手市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第92号	平成30年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	建設経済	賛成多数可決
議案第93号	平成30年度幸手市水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第94号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第95号	監査委員の選任について	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	退	×	—	賛成多数同意

(議員提出議案)

議案第86号	平成30年度幸手市一般会計補正予算（第3号）に対する修正案	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×	×	○	○	—	賛成少数否決
--------	-------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------

議会広報編集委員

委員長 藤沼 貢
副委員長 宮杉 勝
委員 青木 章
委員 大平 泰二
委員 大山 重隆
委員 木村 治夫
委員 小林 順一
委員 本田 謡子
委員 松田 雅代

編集後記

幸手市でも、高齢者の方の割合が増え、全体の3割を超えています。おひとり暮らし、老々介護の不安をよく耳にします。高齢者の方が安心して自宅で暮せる事、また必要になれば施設で暮せる介護のしくみをつくって参ります。議会では、決議を採択し、全員でより良い介護システム実現に努めています。